



戸塚酒造株式会社
(佐久市)

日本酒で“春よ来い”

佐久市岩村田の老舗酒蔵「戸塚酒造」が、期間限定酒「寒竹 春よ来い」の販売を始めた。「春よ来い」のほんわかしたデザインが特徴的なラベルで、女性向けに開発した商品だ。同社では、女性をターゲットにつくった初めてのお酒だという。「おしゃれで飲みやすいお酒ができました。女性にもっと日本酒を楽しんでいただけたら」と、商品の命名をした同社の戸塚民子さん。ネーミングからくるイメージそのままに、やわらかでふくやかな味わいが特徴の純米酒だ。

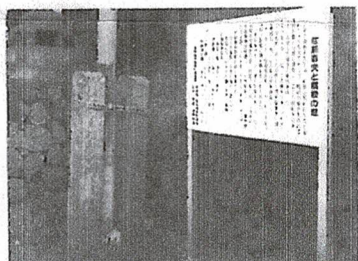
「春を待つ心をあたためるお酒です。恋愛や仕事など、多くの人にいろんな春が来るといいですね」と戸塚さん。価格は1320円(720ml、税込み)。戸塚酒造本社はじめ、県内のスーパーで販売している。

戸塚酒造株式会社 佐久市岩村田752 問: ☎0267・67・2105



文豪・佐藤春夫が 過ごした「聴雪の家」

長いこと東京都文京区で過ごしたので、佐久市と文京区で何かつながりはないかと調べると、明治から昭和にかけて活躍した詩人・作家の佐藤春夫の名が見つかった。それまで、谷崎潤一郎との確執



執くらいのことしか知らなかったが、佐藤は戦争末期から1951年まで、文京区の自宅を離れ佐久に疎開している。

早速、疎開時代に居を構えていた横根地区へ行くと、「聴雪の家」と名づけられた当時の家は残っていないが、その碑や案内板が建っていた。「聴雪」とはまことに詩人らしい表現だが、雪の降る音を聞くことも少ない暖冬の今、文豪がもしも佐久にいたら、どんな詩を残してくれただろうか？
(し)